

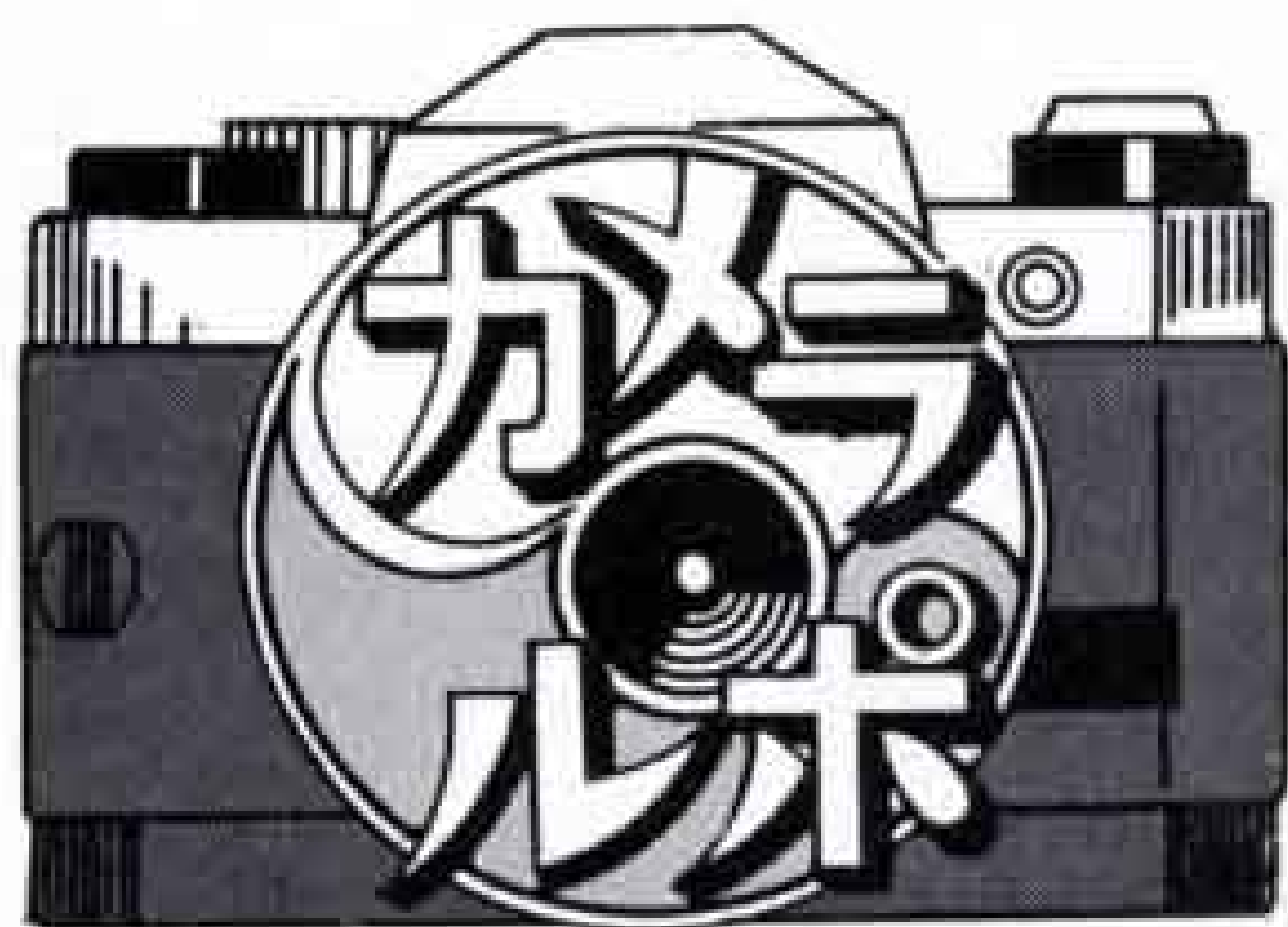
緑いづばいのまぢづへりを推進

四月十日(日)市庁舎北側広場で「緑と花の百科展」が開かれました。これは、家庭も街も緑いづばいにと始めたもので、今回が三十三回目。

会場には庭木・花木などが即売用に約二万点用意され、訪れた市民は思い思いの植物を買い求めました。

また、市民の花ハラの苗木五百本が無料で配られ、長い列ができました。

恒例となった庭木の剪定実技講習会や緑の相談コーナーも人気を集め、会場は終日にぎわいました。



▷きれいな草花に目移りが……

万葉集

あずま うた

東歌の歌碑を建立

広見公園の歴史民俗資料館の一角に万葉集の歌碑が完成しました。碑文は万葉集の巻14におさめられている東歌で、富士の麓を舞台にした男女の恋歌です。

「天の原 富士の麓^{しほやま} 木の暗^{くれ}の 時移りなば 逢はずかもあらむ」

この歌のイメージを市内の彫刻家漆畑勇司さんがデザインし、大小2体の人形で表現しました。



▷カンガルーも売り物です



▷人気があった庭木の剪定実技講習会



▷桜も満開、ジョギングが楽しくなるコース



かりがね駅伝大会くかりがね堤にジョギングコースが完成

富士川の風をうけて快汗

かりがね堤にジョギングコースが完成し、四月十日(日)駅伝大会が開かれました。コースは、かりがね堤とその内側の河川敷につくられ、延長二千二百メートル。大会は、岩松地区社会教育推進会が主催し、地域の八チーム七十一人が参加しました。参加者は富士川から吹くそよ風をうけながら、快い汗を流しました。



△スタートはやっぱり緊張します



△応援も熱が入りました

住みよいまちづくりを目指し

鷹岡地区で市民パレード

四月十日(日)、鷹岡地区で明るく住みよいまちづくりの推進を目指した市民パレードが行われました。

パレードは地区の交通安全協会など二十九団体約千二百人が参加、鷹岡小学校から二コースに分かれて行われました。大人にまじって園児もプラカードを持ち、交通安全・防犯・防火・青少年非行防止を呼びかけました。



△元気よく出発



△子供の代表が誓いの言葉